

新高通信



第 3 2 号

秋田県立新屋高等学校

1 年を振り返って

校長 高安 暢



この 1 年を最も雄弁に物語っているものは、今年度の卒業式での感動的なエンディングではなかったかと思えます。「師弟同行(していどうぎょう)」という言葉がありますが、生徒と教師が同じ目的で学び指導していく、という

意味です。これが、学校生活においてうまく同調し、機能したとき、今年度の卒業式での卒業生の担任への感謝の言葉のようになるのではないかと思います。

学習面ばかりでなく、部活動や生徒会活動など、様々な分野での新屋高校の「師弟同行」がより深まることを期待し、この 1 年の振り返りとします。

卒業証書授与式

第 27 回卒業証書授与式は、3 月 1 日(金)午前 10 時 30 分から第一体育館において挙行されました。

初めに、3 年 E 組の能登千晴さんが代表して卒業証書を受領しました。続いて、「サービス消費のみの社会人ではなく、提案のできる『本当の市民』になってほしい」との校長式辞がありました。在校生代表佐藤勇磨君が「先輩から学んだたくさんの方の事を生かし頑張っていく」と送辞を述べると、卒業生代表の伊藤和憲君が「高校 3 年間は短い。有意義に時を過ごしてほしい」と答辞を述べ、196 名の卒業生は学び舎を巣立って行きました。



表彰式・記念品贈呈式・同窓会入会式



卒業式前日、皆勤賞 21 名、特別活動賞 61 名、献血功労賞 4 名に対する表彰が行われました。また、引き続き記念品贈呈式および同窓会入会式も行われ、学校や同窓会との絆を再確認した 3 年生たちでした。

クラス幹事や部活動代表の生徒たちは、今後同窓会の先輩と連携し、OBOGとして活動の中心的役割を担うこととなります。新屋高校の今後を、同窓生として応援していきましょう。



進路決定状況③

進路指導主事 石井啓之

卒業生に対する大学・短大への進学予定者は 109 名(55.6%)で、昨年同時期の 105 名(53.3%)よりも 4 名(2.3%)増加しました。4 年制大学は 92 名と昨年 74 名から大幅に増加しました。このうち、国公立大学は 17 名、私立大学は 75 名となっています。

国公立大学については、AO・推薦 I などセンター試験を利用しない入試の合格は 7 名でした。また、推薦 II の合格が 3 名、一般入試で前期日程 6 名、後期日程 1 名と、センター試験を利用した合格は 10 名となりました。

就職内定者は 14 名で、うち県内 7 名、県外 7 名でした。



進路状況	合計	国公立	私立	短大	専門学校	進学未定	民間	公務員	就職未定	全く未定
1年生 2月志望	201	81	27	13	48	17	3	5	3	4
2年生 2月志望	197	70	28	18	36	13	20	6	5	1
3年生 2月志望	196	37	73	15	56	0	9	5	0	1
3年生 決定状況 (昨年同期)	183 (186)	17 (21)	75 (53)	17 (31)	60 (49)	[12] ([11])	9 (29)	5 (3)	0 (0)	[1] (0)

一般選抜合格発表

3月12日(火)午後4時、一般選抜合格発表が行われました。

前庭は、30分前にたくさんの車で埋め尽くされました。発表の時を今か今かと待つ受検生と保護者の方々。4時ちょうどに合格者の受検番号を記したボードの白布がはがされ、前庭には高い歓声が上りました。



合格者の受検番号を記したボードの白布がはがされ、前庭には高い歓声が上りました。

保健・教育相談部から

養護教諭 坂田 奈々

10月25日(木)、学校医の内科医木村先生、眼科医松戸先生、歯科医杉田先生の3名の先生方に御出席いただき、平成24年度学校保健委員会を開催、本校生徒の健康について話し合いました。

木村先生からは、腹痛で保健室に来室する生徒の原因に便秘が考えられるため、生活習慣を整え排便習慣をつけること、松戸先生からは若者に増えているカラーコンタクトレンズのトラブルについて、また杉田先生からは、検診で歯垢がとりきれない生徒が多かったことで丁寧な歯磨きを頑張ってもらいたい等、指導助言をいただきました。

生徒の健康維持・管理に役立てたいと思います。

平成24年度 研修報告(後期)

研修部主任 菺谷信也

10月16日(火)に共通テーマ「効果的な発問及び生徒の発言を引き出す工夫を取り入れた授業の実践」を設定して、授業研修会を行いました。数学Ⅱは2Aで、生物Ⅰは2BDで、オーラルコミュニケーションは1Aで、それぞれ研究授業を行い、教科の垣根を越えて全教員が3グループに分かれて参観しました。その後、指導方法や教材の工夫など、参考になった点や今後の課題について意見交換を行いました。

また、後期の互見授業を11月12日(月)～16日(金)に実施しました。11月には、近隣四中学校と連携しての授業改善に向けた研究授業が各中学校を会場にして行われ、本校の教員も参観しました。

授業力向上に向けたこのような取り組みの成果は、生徒たちの授業に還元できるものと考えております。

3月には、先生方の1年間の研修の記録として、平成24年度研修集録を発行する予定です。



3月14日 「先輩講話」

～1年後、2年後の進路を見据えて～



過年度や今年度の卒業生を招いて、先輩からの進路に関するアドバイスがありました。真剣な表情で、メモをとりつつ聞き入る在校生たちでした。

聞き入る在校生たちでした。

各部の成績

剣道：第17回秋田県

中学生・高校生学年別剣道大会

高校2年男子学校対抗 第2位

高校1年男子学校対抗 第2位

高校2年男子個人の部

第3位 佐藤浩成

文芸：第13回若山牧水

青春短歌大賞

高校生部門佳作

小松 里紗



